

COMOシリーズ

品番

HC-7132HS

IDコントローラー

取扱説明書

Ver3. 1x

目次

安全上のご注意	2
1. 特徴	2
2. 付属品	2
3. 各部の機能	
3. 1. パネル操作部	3
3. 2. 内部図	4
3. 3. 配線接続部	5
4. 接続端子・コネクタの説明	
4. 1. 端子台説明	6
4. 2. コネクタ説明	7
4. 3. 2線式電気錠アダプタ	7
5. 結線図	
5. 1. 基本結線	8
5. 2. HC-7020、HC-7030との結線	9
5. 3. 電気錠アダプタとの接続	10
6. ディップスイッチの設定	
6. 1. 機能設定	13
6. 2. 機能説明	14
7. 導入・運用	
7. 1. 初期導入	17
7. 2. 日付・時刻の設定	17
7. 3. 個別ID登録・抹消モード	17
7. 4. 登録用IDによる登録・抹消モード	18
7. 5. ソフトスイッチ・データ設定	19
7. 6. システムカード操作時のフロー	20
7. 7. 履歴データの確認(his000.csv - his020.csv)	21
7. 8. IDデータ編集(idmsg.csv)	23
7. 9. ID名称編集(name.csv)	24
7. 10. ゲート番号編集(gate.csv)	25
7. 11. CCU-1000接続台数編集(ccu.csv)	26
7. 12. ID一括登録	27
8. 仕様	28
9. 外観	31

安全上のご注意



ご注意

1. 次のような場所に設置しないで下さい。故障や破損の原因となります。
 - 湿気の多い場所や水、薬品等がかかるおそれのある場所。
 - ごみやほこりの多い場所、有毒ガスの発生する場所。
2. 極端にノイズの多い環境下での設置、配線はしないで下さい。誤作動するおそれがあります。
 - AC100V、200Vなどの電源線の近く。
3. 本機を分解、改造しないで下さい。
4. 落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。

1. 特徴

- RD-3000を接続して、オフラインの電気錠システムが構築できます。
- リーダーは3台まで接続できますので、入出の制御の他、登録・抹消専用リーダーとして使用できます。
- 登録用ID100、操作用ID999まで個別に登録・抹消ができます。
- SDメモリーカードで、IDデータのバックアップ、一括登録を行うことができます。
- 操作履歴等は、SDメモリーカードに蓄積されるので、必要な時に取出し確認することができます。蓄積件数は約100万件で、CSV形式で保存されます。
- EXCELで履歴の確認、ID名称等の編集が可能です。
- 電気錠制御は2線式を採用し、MIWA、GOAL社のほとんどの電気錠に対応しています。電気錠の種類は、セットアップにより自動認識します。
- 電気錠の動作モードは、自動施解錠モード、交互動作モード、戸建モードが選択できます。
- 電磁錠・電気ストライク錠が使用できます。
- 外部操作入力として、1回解錠、連続解錠、施錠／警戒、火報連動(無電圧A接点入力)を標準装備。警備会社連動の警戒入力モード時は、メーク時のみID認証可能となります。
- 外部出力として解錠、開扉、異常、自動ドア出力(無電圧C接点出力)を標準装備しています。
- 宅配ボックスとの連携が可能です(登録カードモード、オプション基板)。
- Wiegand入力にも対応していますので、静脈や虹彩システムなどの他社の認証システムとも連動可能です。(64ビットまで自動認識します)
- JEM-Aインターフェースも装備していますので、インターフォンとの連動も容易に行えます。

*)FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

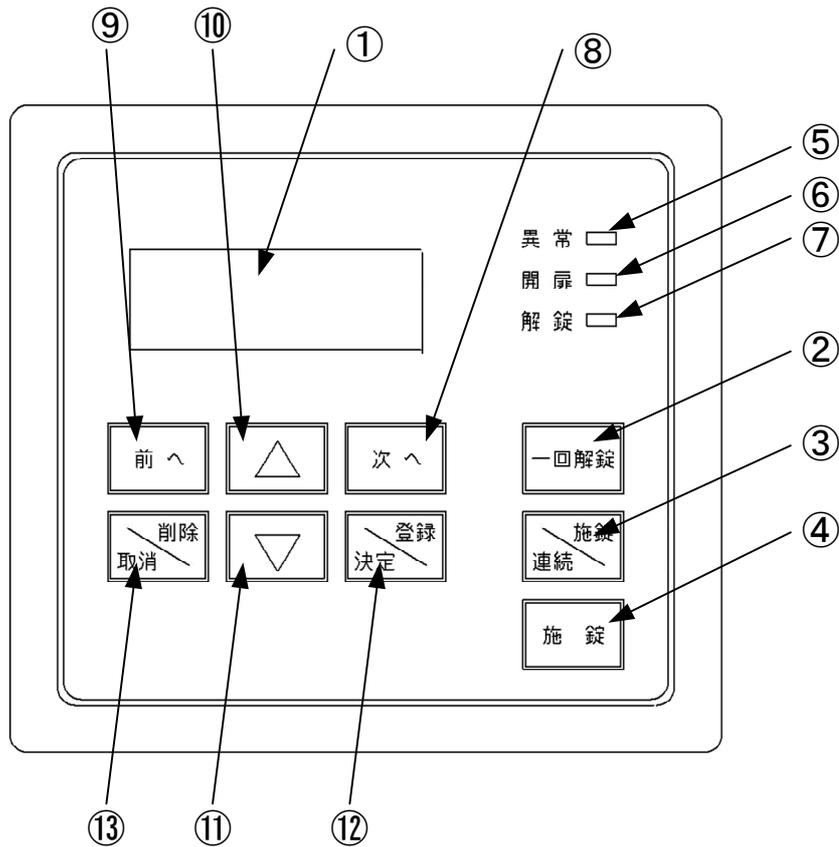
*)FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカード技術方式です。

2. 付属品

HC-7132HS	付属品	2線式電気錠アダプタ	×	1
		JEM-A用接続コネクタ	×	1
		Wiegand用接続コネクタ	×	1
		2Pコネクタ	×	1
		システム用カード(FeliCa)	×	1
		取付ビス(M4×20)	×	4
		ツマミねじ	×	2
		SDメモリーカード(本体に装着済)	×	1
		取扱説明書(この用紙)	×	1

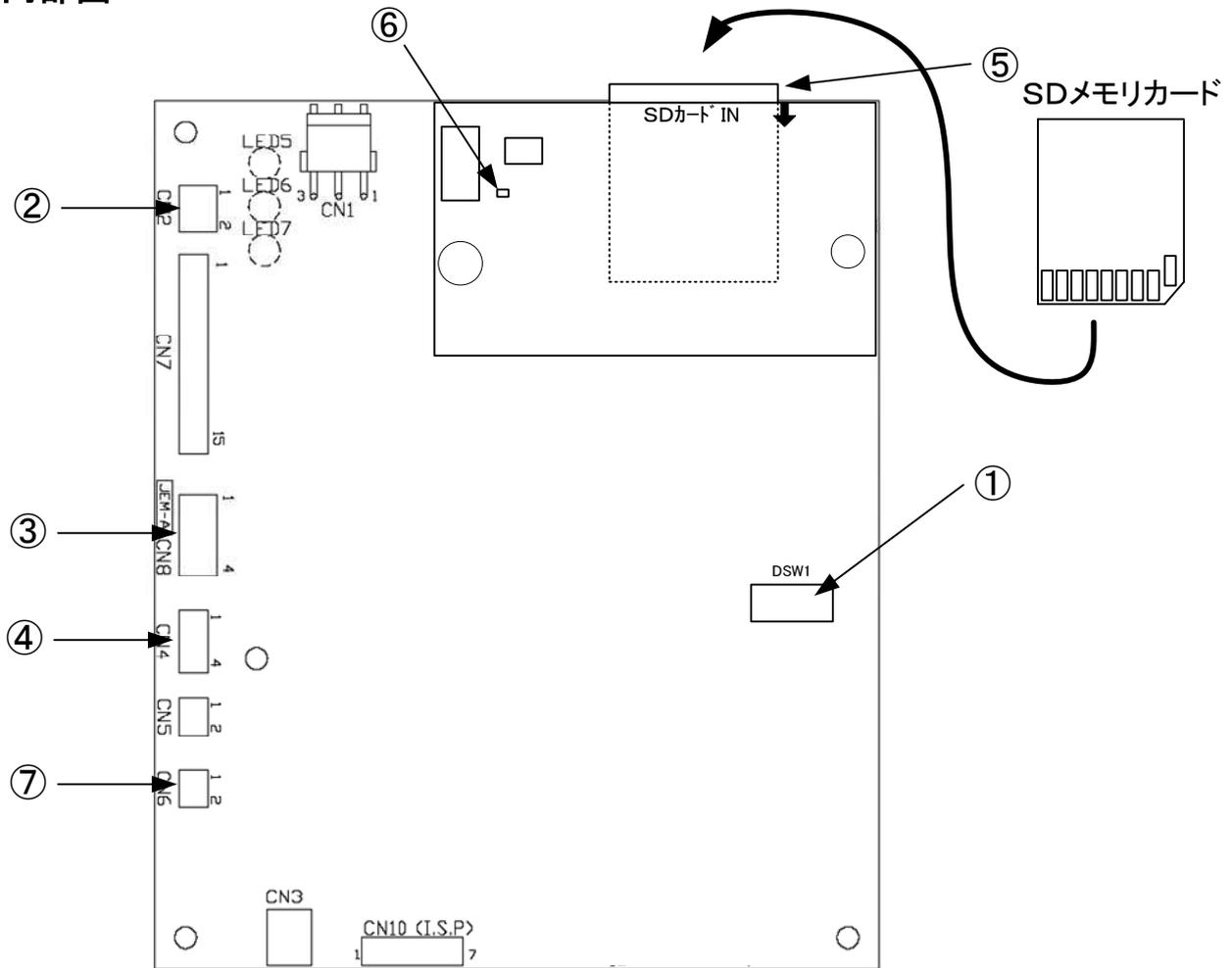
3. 各部の機能

3. 1. パネル操作部



番号	名称	通常モード	登録・抹消モード	日付・時刻設定モード
①	デジタル表示部	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認証されたIDの登録番号表示 ■ 電気錠の開扉、解錠、施錠のステータスの表示 ■ Wiegandプロトコルの認識ビット数表示 ■ 電気錠アダプタ、リーダーとの通信状態表示 ■ 履歴データの保存 ■ SDカードからIDデータの読み込み * ⑧、⑨のスイッチで切り替わります。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録エリア番号の表示 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年・月・日・時・分・秒の順に設定します y-xx 年 o-xx 月 d-xx 日 h-xx 時 n-xx 分 c-xx 秒
②	1回解錠スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動施錠モード 1回解錠 ■ 交互動作モード 連続解錠・施錠の繰り返し動作 ■ 戸建モード 1回解錠 		
③	連続解錠スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての動作モードにおいて、連続解錠 		
④	施錠スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての動作モードにおいて施錠 		
⑤	異常LED(赤)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開扉アラーム、こじ開けアラーム発生、電気錠アダプタ通信エラー発生時に点灯 		
⑥	開扉LED(橙)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 扉が開いている時に点灯 		
⑦	解錠LED(緑)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気錠が解錠の時に点灯 ■ 連続解錠時は点滅 		
⑧	送りスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ ①のデジタル表示部の切替 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録番号を +1 進めます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年→月→日→時→分→秒の順に切り替わります
⑨	戻りスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ ①のデジタル表示部の切替 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録番号を -1 戻します 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定項目を一つ戻します
⑩	早送りスイッチ		<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録番号を +10 進めます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定値を+1します
⑪	早戻りスイッチ		<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録番号を -10 戻します 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定値を-1します
⑫	決定スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ システムID認証時の機能決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気錠パラメータの決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定値の確定 ■ 秒設定項目で、RTCへ書込み
⑬	削除スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ ①のデジタル表示のON, OFF切替 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録IDの抹消 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日付・時刻設定取消

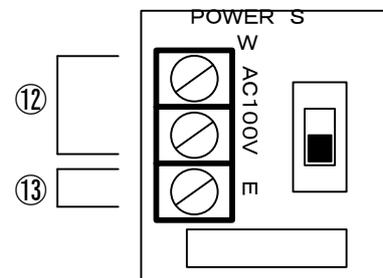
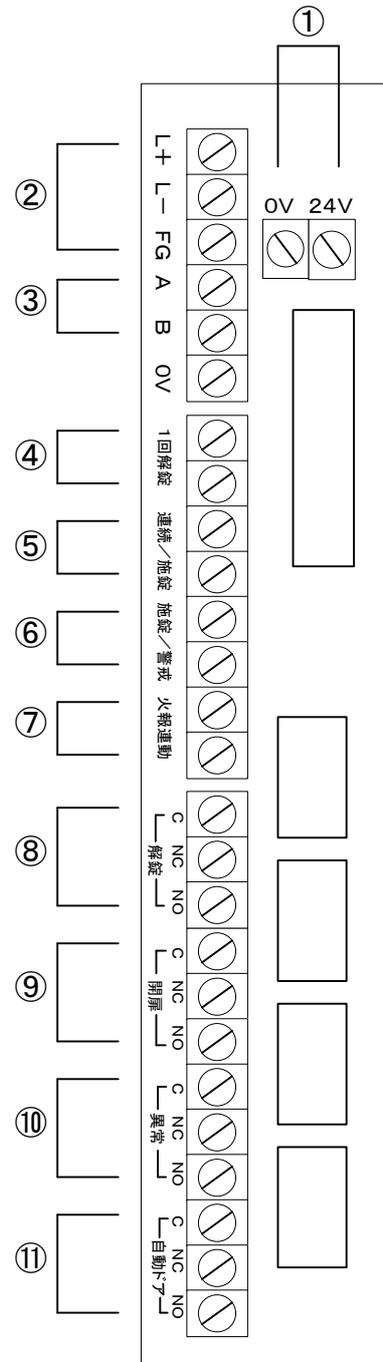
3. 2. 内部図



番号	名称	全モード共通
①	ディップスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■本装置の機能を設定します。 ■詳細は、6章のディップスイッチの設定を参照してください。
②	バッテリーユニット 接続コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ■バッテリーユニット(BTU-1000)を接続するコネクタです。 ■接続はBTU-1000付属の専用ハーネスを使用します。
③	JEM-A 接続コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ■JEM-Aに対応したインターホンを接続します。 ■付属のハーネスを使用します。
④	Wiegand インタフェース コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ■Wiegand出力に対応した、認証機器を接続します。 ■照合出力(オープンコレクタ)。 ■付属のハーネスを使用します。
⑤	SDメモリカード	<ul style="list-style-type: none"> ■RTC基板の裏側に装着します。(SDカードの裏面が見える向き) ■128M~2GバイトまでのSDカードが使用できます(SDHCは不可) ■出荷時に装着済です。
⑥	SDカード アクセスLED(赤)	<ul style="list-style-type: none"> ■SDカードに対して、RW時に点灯します。 ■このLED点灯中は、SDカードを絶対に抜かないでください。ファイルが壊れる可能性があります。
⑦	外部通信 インタフェース	<ul style="list-style-type: none"> ■CCU-1000(最大4台)を接続し、宅配ボックス、エレベータ、インターホンなどと連動することができます(RS422、RS232) ■HC-7132HSは、最大8台まで接続できますので、8ゲートまでの共有部分の連動が可能です。 ■付属のハーネスを使用します。

3. 3. 配線接続部

番号	名称
①	24V外部電源出力端子
②	電気錠アダプタ接続端子
③	リーダー接続端子
④	1回解錠入力
⑤	連続／施錠入力
⑥	施錠／警戒入力
⑦	火報連動入力
⑧	解錠出力
⑨	開扉出力
⑩	異常出力
⑪	照合出力(自動ドア出力)
⑫	電源接続端子
⑬	アース接続端子



4. 接続端子・コネクタの説明

4. 1. 端子台説明

端子名称	機能	説明
AC100V	AC100V接続部	
AC100V		
E	接地線接続部	■D種接地を行ってください。

24V	外部電源出力		■DC24V 0.7A 以下の機器の電源を供給できます。		
0V					
L+	2線式電気錠アダプタ接続部		■極性に注意して下さい。 ■必ずシールド付ツイストペアケーブルを使用してください。 (推奨CPEV-S Φ0.9以上 配線距離50m以内)		
L-					
FG	シールド接続部		■配線のシールド部分を接続してください。		
A	RD-3000接続部		■必ずシールド付ツイストペアケーブルを使用してください。 (推奨CPEV-S Φ0.65以上 配線距離100m以内)		
B					
0V	0V		■基板上の0Vへ固定されています。		
1回解錠	1回解錠スイッチ入力		0.5秒以上 上メーク	■1回解錠スイッチを接続します(A接点)。 ■0.5秒以上メークしてください。	
1回解錠					
連続/施錠	連続解錠/施錠スイッチ入力			■SW6-ON時は、連続解錠-施錠の繰り返し動作になります。	
連続/施錠					
施錠/警戒	施錠/警戒 スイッチ入力	施錠	0.5秒以上 メーク	■SW6-ON時は警戒入力となり、この入力がメーク中のみ、リーダーの照合動作が可能となります。	
施錠/警戒		警戒			オルタネイト
火報連動	火報信号入力		オルタネイト	■メーク中、電気錠が連続解錠します。	
火報連動					
解錠	解錠信号リレー出力	C接点 30V DC 2A		■電気錠が解錠時に出力されます。	
開扉	開扉信号リレー出力				■扉が開いた時に出力されます。
異常	異常信号リレー出力				■開扉アラーム、こじ開けアラーム発生時に出力されます。
自動ドア	照合(自動ドア)リレー出力				■2線式アダプタを接続なしで、セットアップを実行すると、自動ドアとして認識されます。

4. 2. コネクタ説明

CN2		
番号	記号	説明
1	0V	
2	24V	

CN4		Wiegand入力コネクタ	
番号	記号	説明	
1	D0	茶	<ul style="list-style-type: none"> ■ Wiegandプロトコルに対応した、認証機器を接続します。 ■ 64ビットまで自動対応します。 ■ OK出力は、認証時0.5秒出力します(オープンコレクタ)
2	D1	赤	
3	OK	橙	
4	COM	黄	

CN8		JEM-Aコネクタ	
番号	記号	説明	
1	入力	茶	<ul style="list-style-type: none"> ■ JEM-A規格に準拠した、インターホンを接続します。
2		赤	
3	出力	橙	
4		黄	

4. 3. 2線式電気錠アダプタ

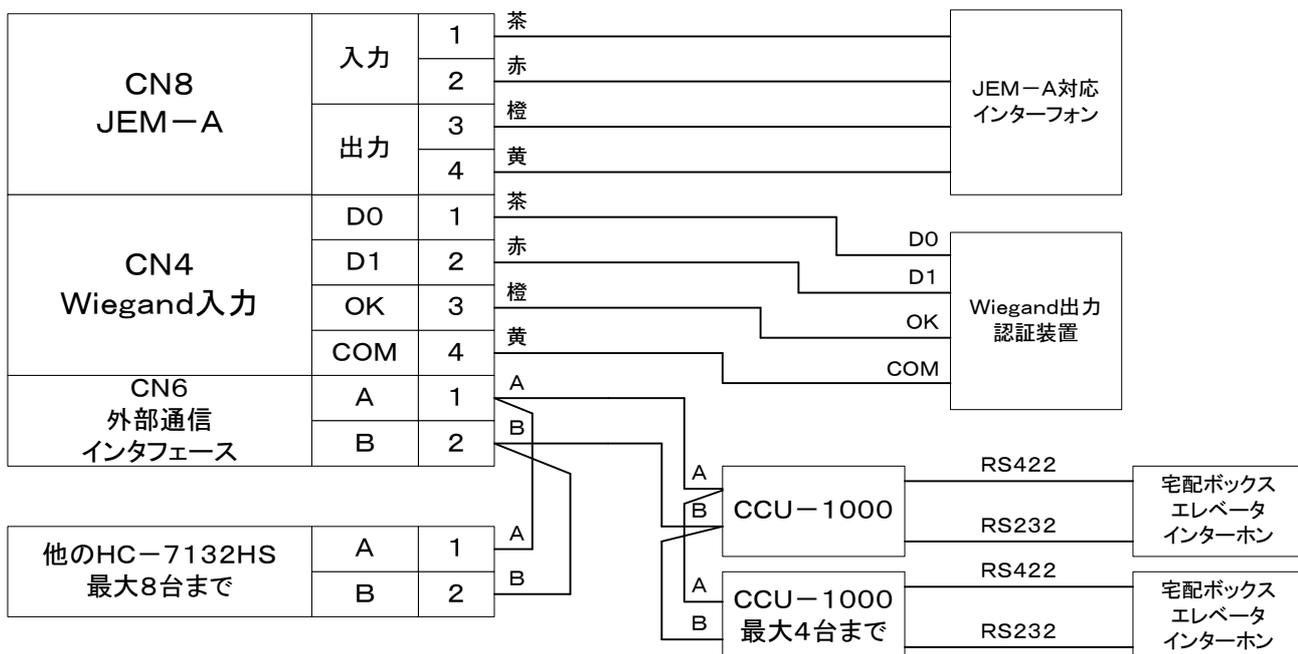
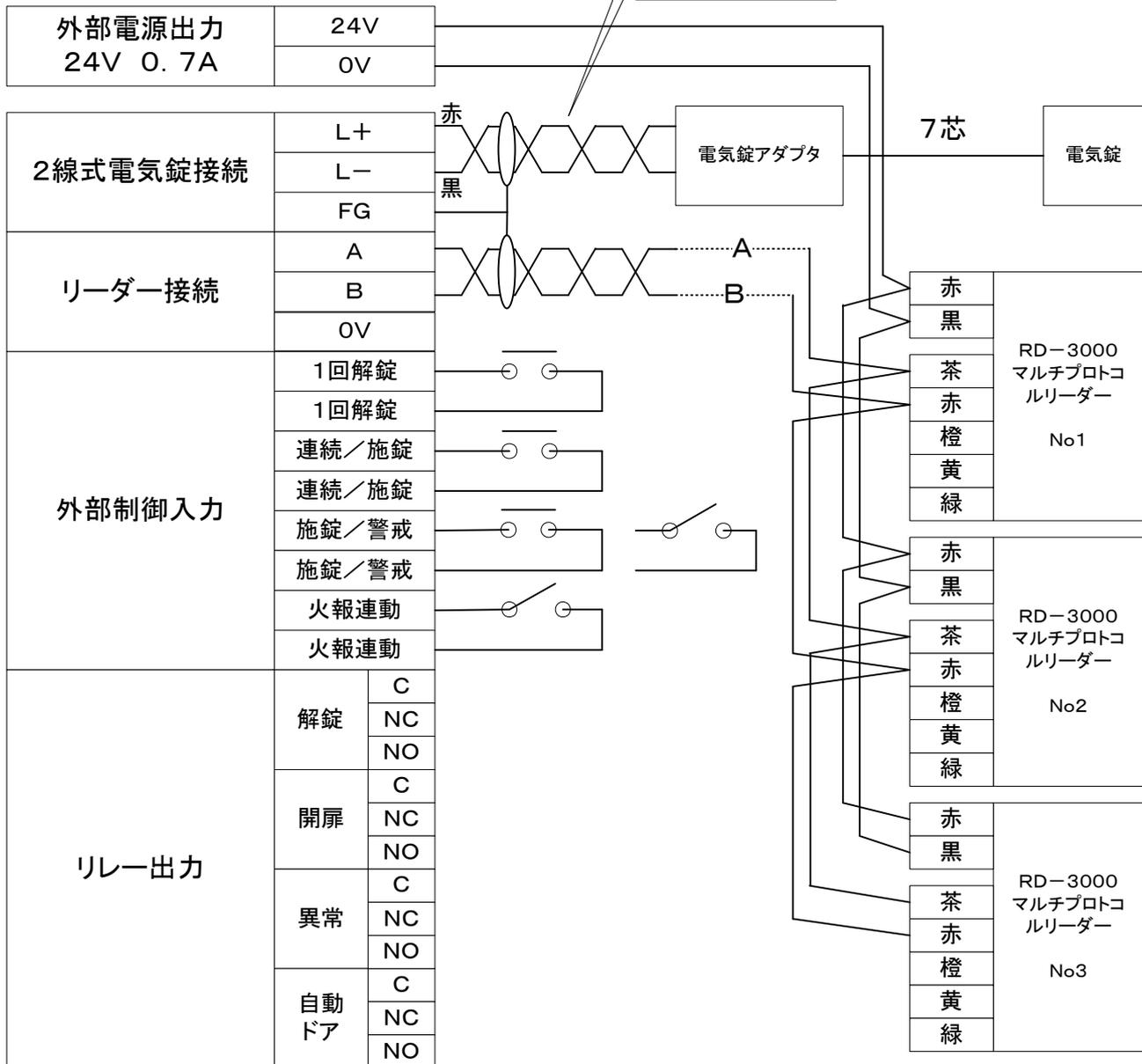
青	ソレノイド	
茶	ソレノイド	
赤	施錠信号	施錠時ON
黄	解錠信号	解錠時ON
橙	開扉信号	開扉時ON
黒	施錠、解錠信号コモン	
白	開扉信号コモン	

美和ロック製電気錠以外は、コネクタ部分をカットして接続してください。

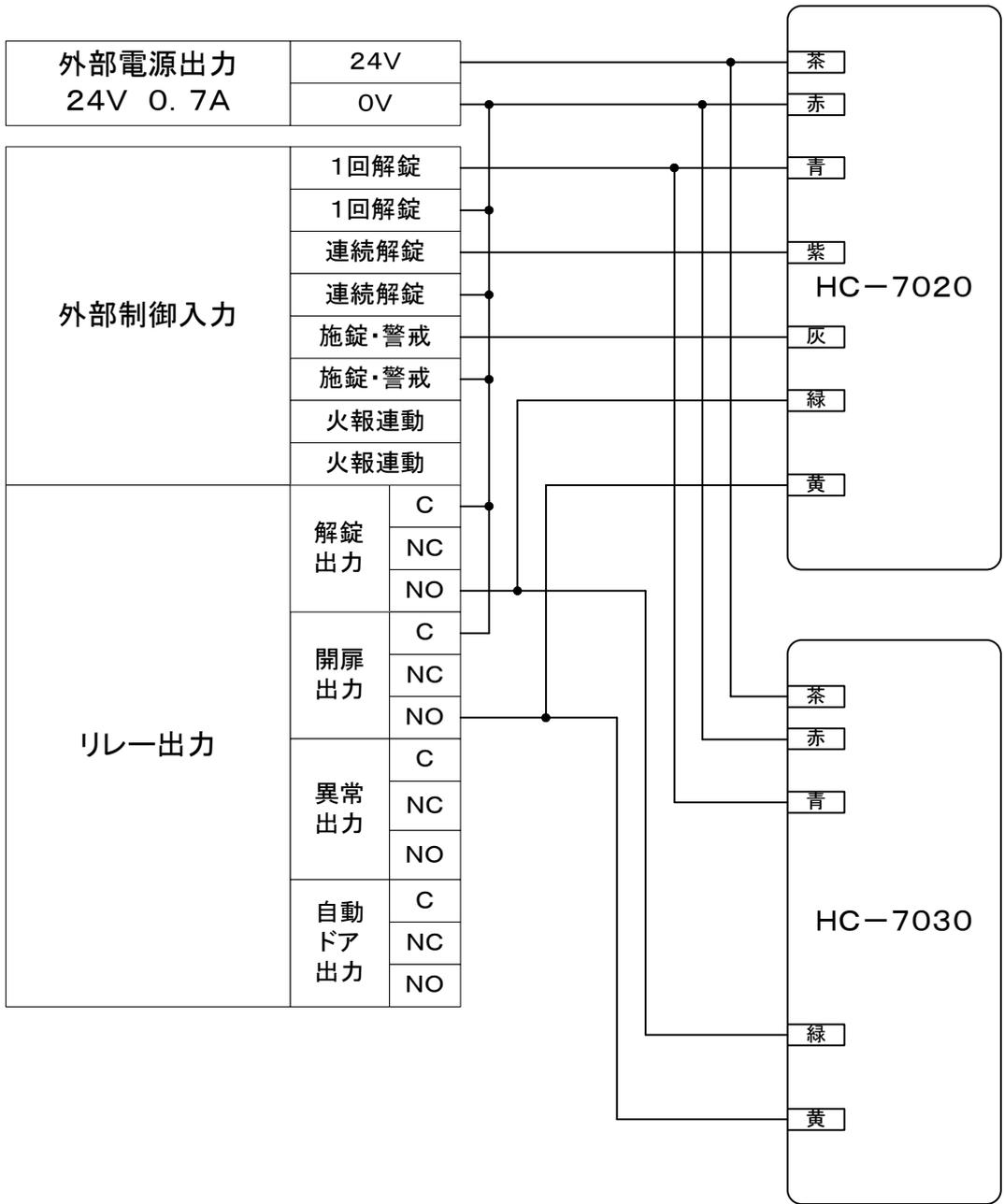
5. 結線図

5.1. 基本結線

極性注意
自動ドアの場合は、何も接続しません



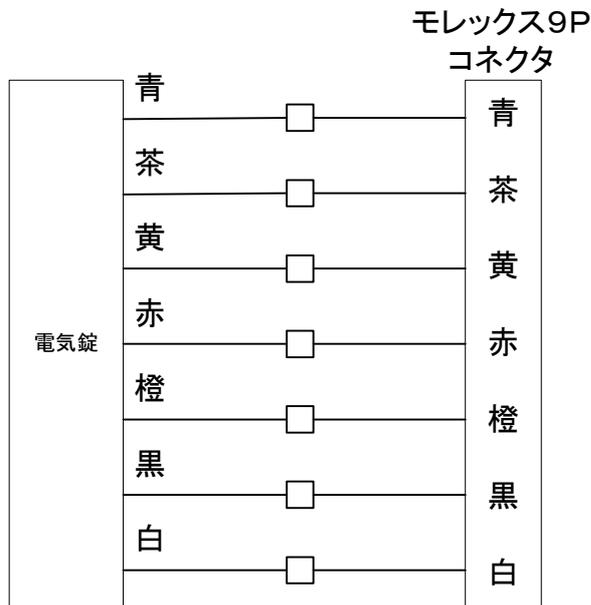
5. 2. HC-7020、HC-7030との結線



5. 3. 電気錠アダプタとの接続

■下記結線図に記載されていない、電気錠・電磁錠との接続詳細については、弊社へお問い合わせください。

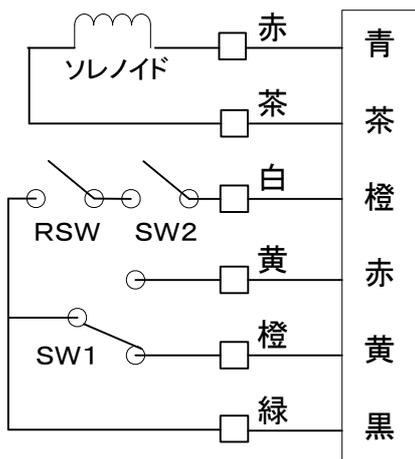
■美和ロック製電気錠との接続



美和ロック製電気錠以外は、コネクタ部分をカットして接続してください。
ALSは使用できません

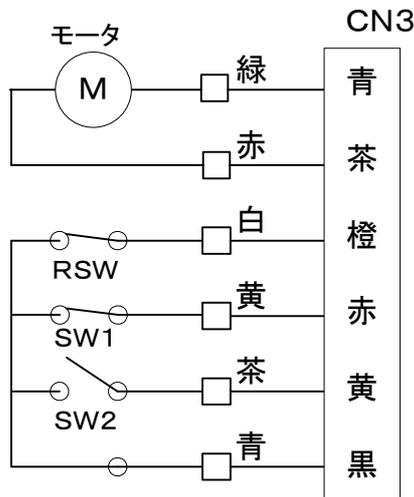
■ゴール製電気錠との接続

瞬時通電施解錠
EXS、EZS



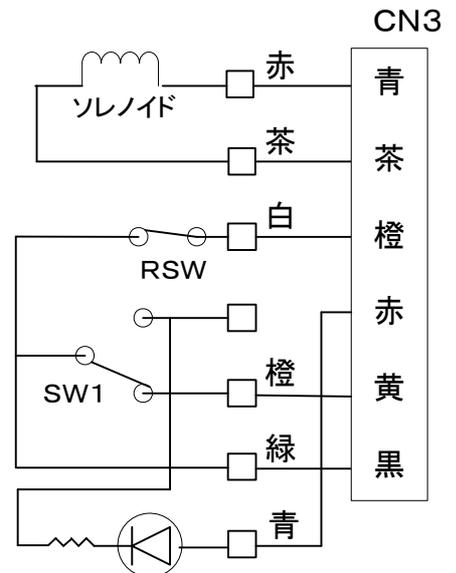
RSW - リードスイッチ (閉扉でON)
SW1 - マイクロスイッチ (施解錠確認)
SW2 - マイクロスイッチ (閉扉でON)

モータ施解錠
EM、SXE、AHM、PX



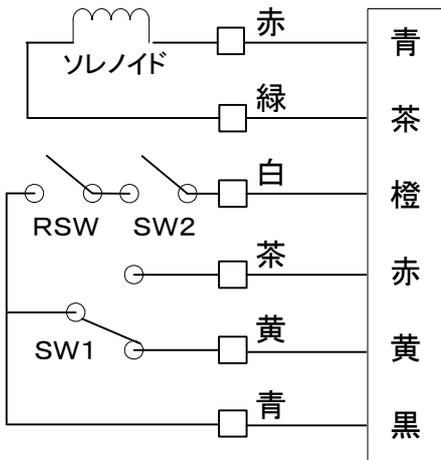
RSW - リードスイッチ (閉扉でON)
SW1 - マイクロスイッチ (施錠でON)
SW2 - マイクロスイッチ (解錠でON)

瞬時通電施解錠
ESS、ELS



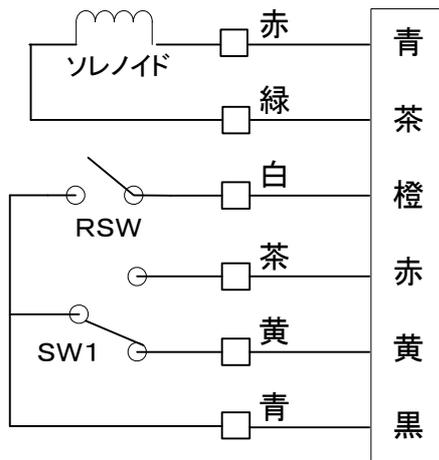
RSW - リードスイッチ (閉扉でON)
SW1 - マイクロスイッチ (施解錠確認)
SW2 - マイクロスイッチ (閉扉でON)

通電時解錠型
ESM、EXM、ELM、EST、ESB
ELT、ELB、ESTP、ELTP



RSW - リードスイッチ (閉扉でON)
SW1 - マイクロスイッチ (EXM) (施解錠確認)
SW2 - マイクロスイッチ (閉扉でON)

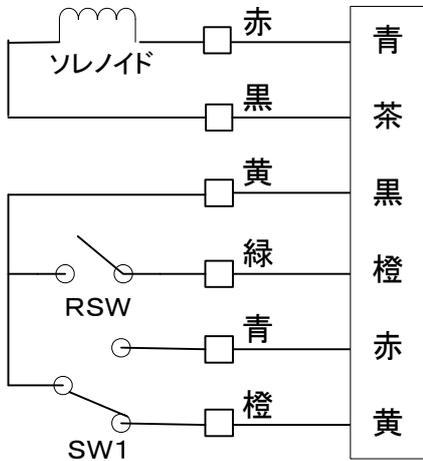
通電時施錠型
ESR、ELR、ESRP、ELRP



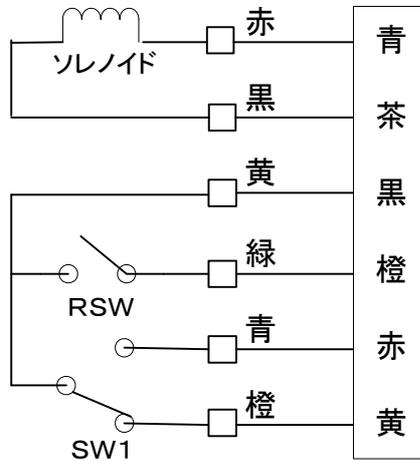
RSW - リードスイッチ (閉扉でON)
SW1 - マイクロスイッチ (施解錠確認)

■ユーシン・ショーワ製電気錠との接続

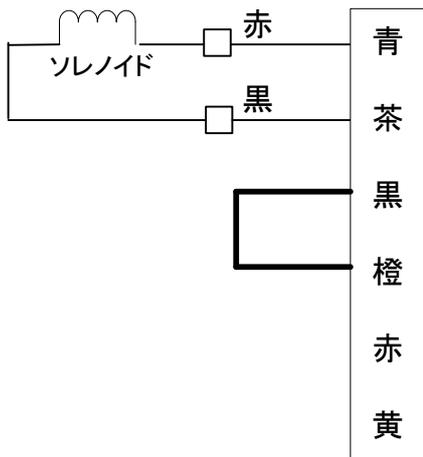
通電時解錠型
ECH-105A



モーター錠
EMX



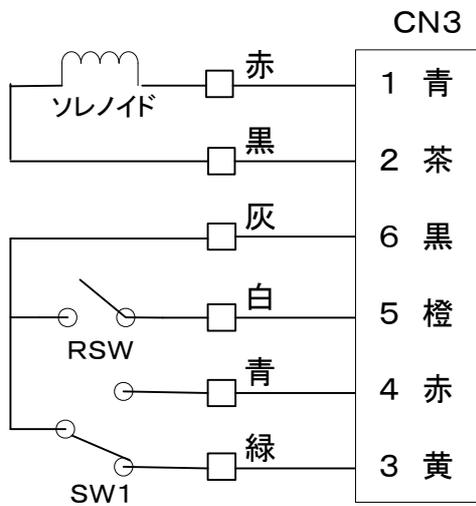
■電磁錠(2芯)との接続



使用しない時は、開扉信号を必ずループしてください

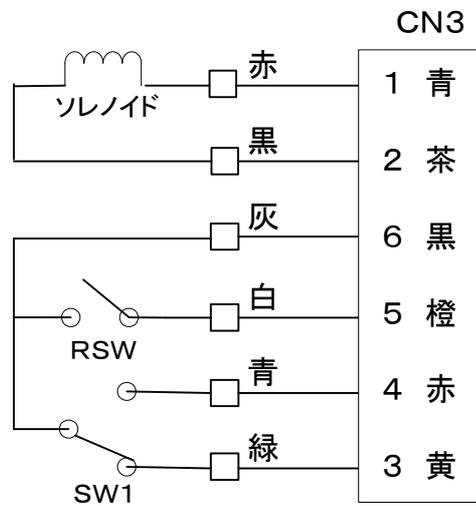
■ 堀商店製電気錠との接続

通電時解錠型
6xx0



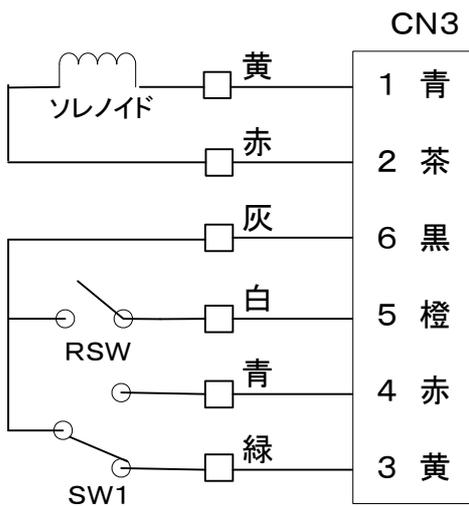
開扉時のフロント装置	
L(ロック)	UL(アンロック)
通常運用 (遠隔操作モード)	緊急解錠 (電氣的施錠不可)

通電時施錠型
6xx2



開扉時のフロント装置	
L(ロック)	UL(アンロック)
緊急施錠 (電氣的解錠不可)	通常運用 (遠隔操作モード)

瞬時通電施解錠型
6xx1



開扉時のフロント装置		
L(ロック)	N(ニュートラル)	UL(アンロック)
常時施錠 (電氣的解錠不可)	通常運用 (遠隔操作モード)	常時解錠 (電氣的施錠不可)

6. ディップスイッチの設定

6. 1. 機能設定

SW1	ON/OFF	機 能		説 明
1、2	OFF	OFF	自動施解錠	■自動施解錠 開扉 → 閉扉 → 施錠 対応電気錠 : 全ての電気錠
	ON	OFF	交互動作	■交互動作 施錠 → 解錠 → 施錠 → 解錠 対応電気錠 : 瞬時通電施解錠、モーター錠
	OFF	ON	戸建モード	■戸建モード 一回解錠 → 開扉 → 閉扉 → 施錠 手動解錠 → 開扉 → 閉扉 → 施錠しない 対応電気錠 : 瞬時通電施解錠、モーター錠
	ON	ON	未使用	
3、4	OFF	OFF	アンチパニックなし	■アンチパニック機能が有効になるのは、通電時解錠・通電時施錠・瞬時通電施解錠モーター錠です。 ■アンチパニック機能を使用の場合、手動解錠時は開扉してもアラームになりません。 ■サムターンやレバーハンドルで、操作する場合は"アンチパニックあり"設定にしてください。 ■電磁錠・電気ストライク錠はアンチパニックは機能しません。
	ON	OFF	アンチパニックあり	
	OFF	ON	電磁錠	
	ON	ON	電気ストライク錠	
5	OFF	連続解錠		■連続解錠入力、施錠入力、連続解錠スイッチの動作を設定します。 ■OFF → 施錠入力、施錠スイッチで施錠。 ■ON → 連続解錠入力、連続解錠スイッチで解錠・施錠の反転動作。 ■ON → 施錠入力が警戒入力となり、メーク中のみリーダーアクセス可能となります。
	ON	連続解錠／施錠反転		
6	OFF	個別ID登録・抹消モード		■IDの登録・抹消方法を設定します。 ■OFF → 全てのIDを個別番号により、登録・抹消します。 ■ON → 登録用IDによる、グループ登録・グループ抹消します。
	ON	登録用IDによる登録・抹消モード		
7	OFF	通常		■本装置を管理するためのIDを登録します。 ■出荷時は予め同梱のカード(FeliCa)が、システムカードとして登録されています。
	ON	システムカードの登録		
8	OFF	通常		■電気錠に関する設定を行います。 ■ON → 電源ON → 電気錠の自動認識(施錠・閉扉状態で行ってください) ■通常動作 → ON → システムカード操作 → 電気錠のパラメータ設定(F-03)
	ON	電気錠の自動認識／パラメータ設定		

RD-3000を接続時は、必ずリーダー側の設定を以下のように行ってください。RD-3000のNo4、No5設定は使用できません。

1台接続 No1
2台接続 No1 と No2
3台接続 No1 と No2 と No3

IDの登録・抹消は、どのリーダーからでも可能ですが、同じリーダーで操作してください。

6. 2. 機能説明

自動施錠モード

1. 対応電気錠
 - 接続可能な全電気錠。
2. 1回解錠入力、スイッチ操作の場合
 - 解錠 → 開扉 → 閉扉で施錠します。
 - 解錠 → 開扉動作なし → 一定時間後に施錠します(初期値5秒)。
3. 連続解錠入力、スイッチ操作の場合
 - 連続解錠状態を保持します。
 - 施錠入力で施錠します。
4. 施錠入力、スイッチ操作の場合
 - 施錠します。
5. 手動(サムターン)で、解錠した場合
 - 上記2と同じ動作になります。

戸建モード

1. 対応電気錠
 - 瞬時通電施錠、モーター錠。
2. 1回解錠入力、スイッチ操作の場合
 - 解錠 → 開扉 → 閉扉ですぐに施錠します。
 - 解錠 → 開扉動作なし → 一定時間後に施錠します(初期値5秒)。
3. 連続解錠入力、スイッチ操作の場合
 - 解錠状態を保持します。
 - 施錠入力で施錠します。
4. 施錠入力、スイッチ動作の場合
 - 施錠します。
5. 手動(サムターン)で、解錠した場合
 - 解錠状態を保持します。
 - 再度手動で施錠するか、上記2, 4の動作で施錠します。

交互動作モード

1. 対応電気錠
 - 瞬時通電施錠、モーター錠。
2. 1回解錠入力、スイッチ操作の場合
 - 解錠状態を保持します。
 - 再度入力動作により、施錠します。
3. 連続解錠入力、スイッチ操作の場合
 - 解錠状態を保持します。
 - 施錠入力で施錠します。
4. 施錠入力、スイッチ動作の場合
 - 施錠します。
5. 手動(サムターン)で、解錠した場合
 - 解錠状態を保持します。
 - 再度手動で施錠するか、上記2, 4の動作で施錠します。

アンチパニック機能について

1. 対応電気錠
 - 接続可能な全電気錠。
2. アンチパニック機能なし(スイッチ3 OFF)
 - 手動(サムターン)で解錠し、開扉した場合アラームとなり、異常リレー出力がONになります。
3. アンチパニック機能あり(スイッチ3 ON)
 - 手動(サムターン)で解錠し、開扉してもアラームになりません。

ご注意)
電磁錠・電気ストライク錠は機能しません。

連続解錠／施錠入力、施錠／警戒入力について

1. 連続解錠(スイッチ5 OFF)
 - パルス入力
 - 連続解錠入力 → 連続解錠入力として動作します。
 - 施錠・警戒入力 → 施錠入力として動作します。
2. 連続解錠／施錠反転(スイッチ5 ON)
 - パルス入力
 - 連続解錠入力 → 連続解錠、施錠の反転動作になります。
 - 施錠・警戒入力 → 警戒入力として動作します。メーカーのみ、認証装置の照合が可能となります。警備システムの警戒・解除出力を接続します。

火報入力について

- オルタネイト入力
- メイク中、連続解錠と同じ状態になります。
- 火災受信盤等の、無電圧A接点出力を接続します。

リレー出力について

1. 解錠出力
 - 電気錠が解錠時に、ONになります。
 2. 開扉出力
 - 扉が開いた時に、ONになります。
 3. 異常出力
 - 施錠中に扉が開いた場合(こじ開けアラーム)に、ONになります。
 - 解錠時、一定時間扉を開放状態しておく、(開扉アラーム 初期値30秒)ONになります。
 4. 自動ドア出力
 - 認証時出力(F-03 項目7)
 - 00—認証と同時に出力
 - 01—電気錠解錠と同時に出力
 - 02—99 x0. 1秒遅延後に出力
- それぞれ出力時間は、F-03 項目3による。x1秒
- 電気錠アダプタを接続しないで、セットアップを実行しますと、自動ドアとして設定されます。この場合、認証OK時に一定時間ONになります(1回解錠時間)。

ご注意)

リレー接点に接続される機器は、以下の範囲内でご使用下さい。

- 0.6A 125V AC
- 0.6A 110V DC
- 2A 30V DC

1. 通常時(“次へ”と“戻る”スイッチで切替)

- 日付・時刻表示
- 認識されたIDの登録番号を表示
U001-U999
- エラー表示
- 電気錠の状態表示。
- Wiegand入力の認識ビット数
- 電気錠アダプタ、リーダーとの通信状態表示。
- 履歴保存確認表示
- IDデータ一括登録確認表示

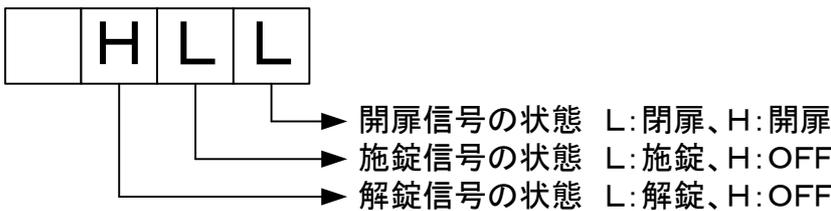
2. ID登録モード時

- 登録番号の表示
- U001-U999 操作用ID番号
- P001-P100 登録用ID番号
- 登録済み番号は点灯、未登録番号は点滅

3. 日付・時刻設定モード時

- 設定項目の表示

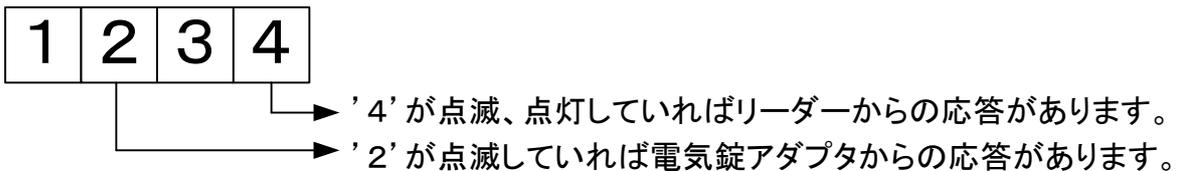
<電気錠状態表示>



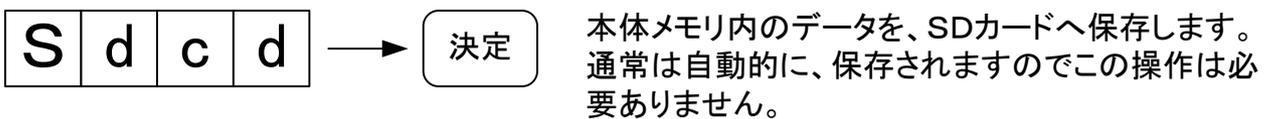
<Wiegandビット>



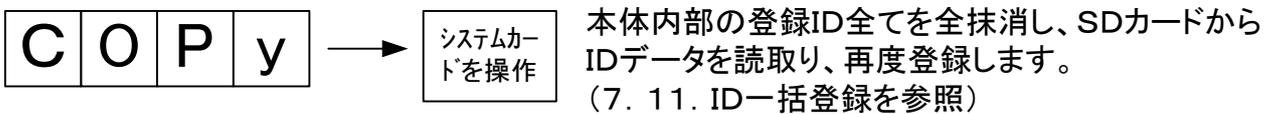
<通信状態表示>



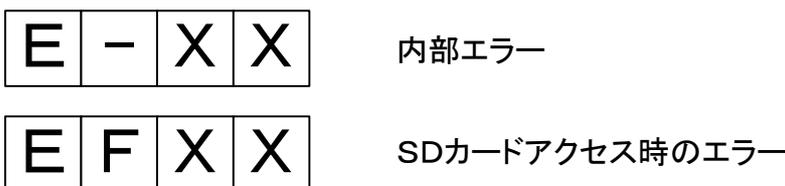
<履歴保存確認表示>



<IDデータ一括登録確認表示>



<エラー表示>



表示	説明
E-01	EEPROM書込みエラー
E-02	SSRAM書込みエラー
E-03	SDカード未装着 SDカードを取り出した時に表示されます。SDカード挿入後(約3秒)で、元の表示に戻ります。

7. 導入・運用手順

■以下に、弊社カードリーダー(RD-3000)を、接続した場合の説明します。

7. 1. 初期導入

1. 電源OFF状態を確認します。
2. 扉を閉め、施錠状態にします。 → 自動ドアの場合は、扉の開閉は関係ありません。
3. SW1の8をONにします。
4. 表示部に "8888" が表示され、電気錠のセットアップが始まります。
5. 表示部に "。。。" が表示されれば、セットアップ終了です。
6. SW1の8をOFFにします。

7. 2. 日付・時刻の設定

1. "決定"ボタンを押し続けます(約3秒)。
2. 表示部に "y-xx" が表示されます。xxの部分が点滅します(年を表します)。
3. "上下矢印"ボタンで値を変更し、"決定"ボタンを押します。
4. 表示部に "o-xx" が表示されます(月)。“上下矢印”ボタンで値を変更し、“決定”ボタンを押します。以下同様に操作を繰り返します。
5. "d-xx" が表示されます。(日)
6. "h-xx" が表示されます。(時)
7. "n-xx" が表示されます。(分)
8. "c-xx" が表示されます。(秒)
9. 8の時に、“決定”ボタンを押すことにより設定されます。
10. 時刻表示画面に戻ります。

* 中止したい場合は、“取消”ボタンを押してください。

7. 3. 個別ID登録・抹消モード SW1の6 OFF

■操作作用IDの登録

1. システムカードを操作します。
2. 表示部に "F-00" が表示されていることを確認し、“決定”ボタンを押します。
3. "U001" と表示され、未登録であれば点滅します。
4. 登録したい番号へ、“次へ”、“前へ”ボタンで移動します。
5. 登録する操作作用カードを操作します(登録中は、LEDは紫に点灯します)。
* 連続して登録したい場合は、“UXXX” が登録したい枚数分連続して点滅することを確認してください。
6. 必要枚数分、5を繰り返します。登録番号は、自動的に+1されます。
* カード操作したときに、“ピーー” と長音ブザーが鳴動すれば、その番号には、データが登録されているので、再度4の操作にて、番号を移動してください。
7. 全て登録し終われば、再度システムカードを操作します(LEDは、青に戻ります)。
8. 表示部に、登録した枚数 "CXXX" が表示されます。

パネルスイッチ▲(+10)▼(-10)を、押し続けることにより、登録エリアの早送り、早戻しをすることができます。

■操作IDの抹消

1. システムカードを操作します。
2. 表示部に "F-00" が表示されていることを確認し、"決定"ボタンを押します。
3. "U001" と表示され、未登録であれば点滅します。
4. 抹消したい番号へ、"次へ"、"前へ"ボタンで移動します。
5. "削除"を押します。
6. 必要枚数分、4, 5を繰り返します。
7. 全て抹消し終われば、再度システムカードを操作します(LEDは、青に戻ります)。
8. 表示部に、"C000" が表示されます。

■システムカードの変更

1. スイッチ7をONにします。
2. 変更するカードを操作します。
3. 表示部に "7-oF" が表示されます。
4. スイッチ7をOFFにします。

ご注意)
システムカードの抹消はできません。

7. 4. 登録用IDによる登録・抹消モード SW1の6 ON

■登録用IDの登録

1. システムカードを操作します。
2. 表示部に "F-01" が表示されていることを確認し、"決定"ボタンを押します。
3. "P001" と表示され、未登録であれば点滅します。
4. 登録したい番号へ、"次へ"、"前へ"ボタンで移動します。
5. 登録するカードを操作します(登録中は、LEDは紫に点灯します)。
* 連続して登録したい場合は、"Pxxx" が登録したい枚数分連続して点滅することを確認してください。
6. 必要枚数分、5を繰り返します。登録番号は、自動的に+1されます。
* カード操作したときに、"ピーー" と長音ブザーが鳴動すれば、その番号には、データが登録されているので、再度4の操作にて、番号を移動してください。
7. 全て登録し終われば、再度システムカードを操作します(LEDは、青に戻ります)。
8. 表示部に、登録した枚数 "Cxxx" が表示されます。

■登録用IDの抹消

1. システムカードを操作します。
2. 表示部に "F-01" が表示されていることを確認し、"決定"ボタンを押します。
3. "P001" と表示され、未登録であれば点滅します。
4. 抹消したい番号へ、"次へ"、"前へ"ボタンで移動します。
5. "削除"を押します。
6. 必要枚数分、4, 5を繰り返します。
7. 全て抹消し終われば、再度システムカードを操作します(LEDは、青に戻ります)。
8. 表示部に、"C000" が表示されます。

パネルスイッチ▲(+10)▼(-10)を、押し続けることにより、登録エリアの早送り、早戻しをすることができます。

■操作作用IDの登録

1. 登録カードを操作します。リーダーのLEDが紫色に点灯します。
2. 登録する操作作用カードを操作します。
3. 必要枚数分、2を繰り返します。
4. 全て登録したなら、約10秒間待ちます。LEDが青色に点灯します。

■操作作用IDの全抹消

1. 登録カードを、約10秒間リーダーへかざします。(抹消したいユーザーを登録したカード)
2. ピーとブザーが鳴動し、抹消完了。
3. 再度操作作用カードを登録します。

■操作作用IDの個別抹消

1. システムカードを操作します。
2. 表示部に "F-01" が表示されます。
3. "前へ"を押し、"F-02" を表示します。"決定"を押します。
4. "Uxxx" と登録されている番号が表示されます。
5. 抹消したい番号へ、"次へ"、"前へ"ボタンで移動します。
6. "削除"を押します。
7. 必要枚数分、5, 6を繰り返します。
8. 全て抹消し終われば、再度システムカードを操作します(LEDは、青に戻ります)。
9. 表示部に、"C000" が表示されます。

登録モードが終了する時に、全IDデータをSDカードへ自動的にバックアップします。このため、リーダーのLEDが青色に変わるまで、数秒間かかりますが故障ではありません。

7. 5. ソフトスイッチ・データ設定

■ソフトスイッチ・データ変更

1. SW8をONにし、システムカードを操作します。
2. "F-03" が表示されていることを確認し、"決定"ボタンを押します。
3. 以下のように表示されます。"▲"、"▼"ボタンで値を変更します。"前へ"、"次へ"ボタンで次の設定へ移動します。

0-05	1回解錠時間	00-99	1秒単位
1-30	開扉アラーム時間	00-99	1秒単位、00は開扉アラームなし
2-05	施錠タイマー	00-99	0.1秒単位
3-02	リレー出力時間	00-99	1秒単位
4-00	電気錠種別変更		
	00:自動ドア		
	02:瞬時通電施解錠		
	03:通電時解錠(電気ストライク SW3, 4-ON)		
	04:通電時施錠(電気ストライク SW3, 4-ON)		
	05:モーター錠 06:電磁錠(SW4-ON)		

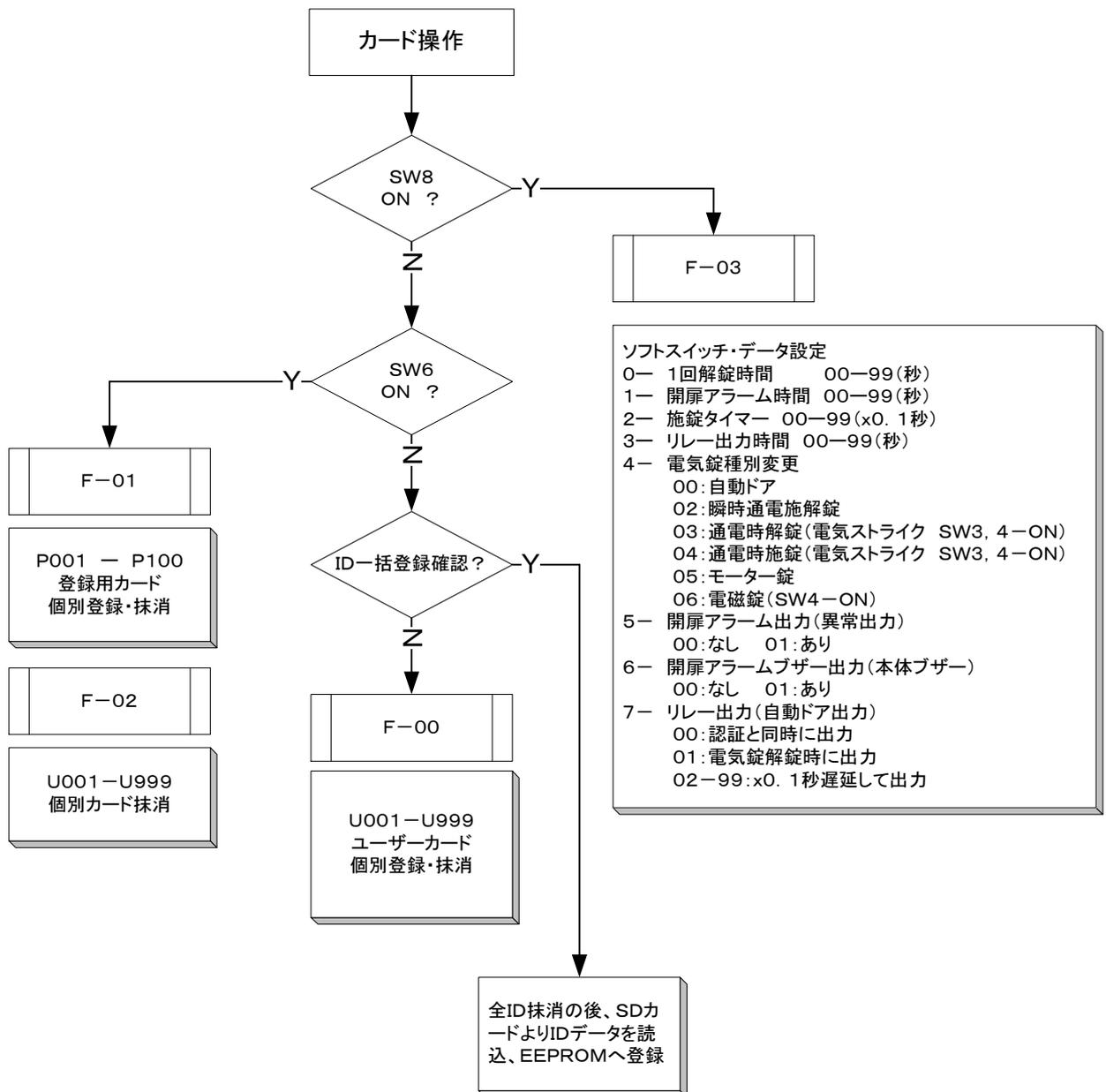
- 5-00 開扉アラーム出力(異常出力) 00:なし 01:あり
- 6-00 開扉アラームブザー出力(本体ブザー) 00:なし 01:あり
- 7-00 リレー出力(自動ドア出力)
- 00:認証と同時に出力 01:電気錠解錠時に出力
- 02-99:x0.1秒遅延後出力

4. 設定終了する場合は、もう一度カード操作します。
この時表示されている値が登録されます。

5. SW8をOFFにします。

7. 6. システムカード操作時のフロー

■システムカードの操作時のフロー



7. 7. 履歴データの確認 (his000.csv - his020.csv)

■本機内臓のSDカードには、最大で約100万件の履歴データが蓄積されます。

1. 本体よりSDカードを取り出します(軽く押すとロックがはずれます)
* SDカードが装着されている場所は、“3. 2. 内部図”を参照してください。
2. パソコンにSDカードをセットしてください。
3. SDカード内のフォルダ “¥his” 直下に履歴データファイル his000.csv - his020.csv のファイルがありますので、パソコンへコピーしてください。(それぞれのファイルには、約50000件の履歴データが保存されています)
4. 確認したいファイルをExcel で開きます。

Excel上での表示

A	B	C	D	E
日付:時刻	管理番号	登録ID	履歴内容	ID名称
2010/7/28 17:53			電源ON	
2010/7/28 17:53			ドア閉	
2010/7/28 17:53			施錠	
2010/7/28 18:01	0	2A45694D00000000	システムカードを操作	
2010/7/28 18:02	0	2A45694D00000000	システムカードを操作	
2010/7/28 19:00	5	180BB44A00011A0A	ユーザー照合(入室)	Name5
2010/7/28 19:00			解錠	
2010/7/28 19:00			ドア開	
2010/7/28 19:00			ドア閉	
2010/7/28 19:00			施錠	

NO	履歴内容	説明
1	ユーザー照合(入室)	No1のリーダーを、ユーザーIDで操作
2	カードNG	データ該当なし 又は 警備警戒中にカード操作
3	システムカード操作	システムカードを操作
4	プログラムカード操作	ユーザー登録用IDを操作
5	プログラムカード操作	ユーザー登録用IDを操作
6	ユーザーカード追加	ユーザーIDを追加した
7	プログラムカード追加	ユーザー登録用IDを追加した
8	プログラムカード削除	ユーザー登録用IDを削除した
9	ユーザー照合(退出)	No2のリーダーを、ユーザーIDで操作
10	システムカード登録	システムIDを登録
11	全IDデータバックアップ	登録作業を終了した場合、自動的に全IDをSDカードへ保存
12	履歴データ手動保存	本体へ保存された履歴を、手動でSDカードへ保存
13	カレンダー・時刻修正	日付・時刻の修正作業を行った
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20	設定値変更	電気錠のパラメータを変更
21	SDカード挿入	SDメモリーカードを挿入
22	SDカード取出	SDメモリーカードを取出

ご注意)

■基板の部分が熱くなっている場合がありますので、SDカードを出し入れする場合は、ご注意ください。

■SDカードは裏面を手前にして、挿入します。

NO	履歴内容	説明
40	電源ON	電源投入
41	入室側リーダーエラー	No1リーダーとの通信エラー発生(10秒間継続の場合)
42	入室側リーダーエラー復旧	No1リーダーとの通信エラー復旧
43	退出側リーダーエラー	No2リーダーとの通信エラー発生(10秒間継続の場合)
44	退出側リーダーエラー復旧	No2リーダーとの通信エラー復旧
45	電気錠アダプタ通信エラー	電気錠アダプタとの通信エラー発生(10秒間継続の場合)
46	電気錠アダプタ通信エラー復旧	電気錠アダプタとの通信エラー復旧
47	SDカードアクセスエラー	SDカードへのRWエラー
48	リーダー3エラー発生	No3リーダーとの通信エラー発生(10秒間継続の場合)
49	リーダー3エラー復旧	No3リーダーとの通信エラー復旧
50	施錠	電気錠 施錠
51	解錠	電気錠 解錠
52	自動ドアON	自動ドア出力ON
53	ドア閉	電気錠 閉扉
54	ドア開	電気錠 開扉
55	施錠入力ON	外部入力 施錠メーク
56	解錠入力ON	外部入力 1回解錠メーク
57	連続解錠入力ON	外部入力 連続解錠メーク
58	火報入力ON	外部入力 火報メーク
59	火報入力OFF	外部入力 火報復帰
60	警備解除	外部入力 警戒メーク
61	警備開始	外部入力 警戒ブレーク
62	インターホン解錠操作	JEM-A入力メーク
63	1回解錠ボタン操作	本体の1回解錠ボタン操作
64	施錠ボタン操作	本体の施錠ボタン操作
65	連続解錠ボタン操作	本体の連続解錠ボタン操作
66	手動解錠	サムターン、レバーハンドルによる解錠操作
67	開扉アラーム発生	電気錠 開扉アラーム発生
68	開扉アラーム復旧	電気錠 開扉アラーム復旧
69	こじ開けアラーム発生	電気錠 こじ開けアラーム発生
70	こじ開けアラーム復旧	電気錠 こじ開けアラーム復旧
71	idmsg.csv 新規作成	IDデータ登録ファイル新規作成
72	name.csv 新規作成	名称データ登録ファイル新規作成
73	his000.csv 新規作成	履歴蓄積ファイル新規作成 1ファイル約50000件蓄積されます
74	his001.csv 新規作成	
75	his002.csv 新規作成	
76	his003.csv 新規作成	
77	his004.csv 新規作成	
78	his005.csv 新規作成	
79	his006.csv 新規作成	
80	his007.csv 新規作成	
81	his008.csv 新規作成	
82	his009.csv 新規作成	
83	his010.csv 新規作成	
84	his011.csv 新規作成	
85	his012.csv 新規作成	
86	his013.csv 新規作成	
87	his014.csv 新規作成	
88	his015.csv 新規作成	
89	his016.csv 新規作成	
90	his017.csv 新規作成	
91	his018.csv 新規作成	
92	his019.csv 新規作成	
93	his020.csv 新規作成	

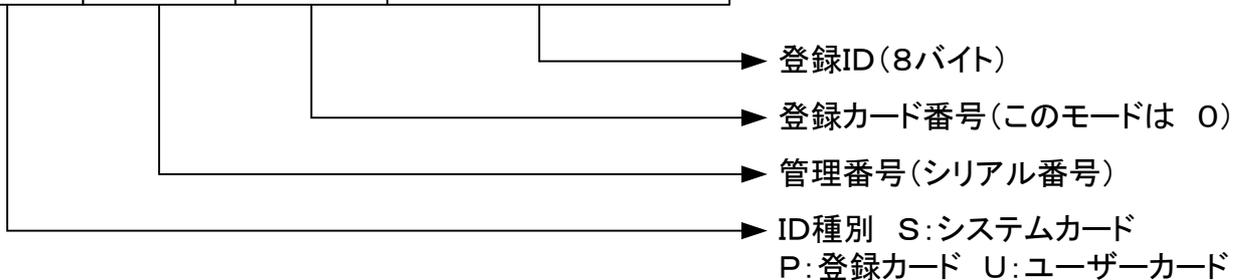
7. 8. IDデータ編集(idmsg.csv)

■通常運用においては、特にこの項目を編集する必要はありませんが、IDデータファイルの内容を説明します。

1. 本体よりSDカードを取り出します(軽く押すとロックがはずれます)
* SDカードが装着されている場所は、”3. 2. 内部図”を参照してください。
2. パソコンにSDカードをセットしてください。
3. SDカード内のフォルダ ”¥ctrl” 直下の idmsg.csv のファイルをパソコンへコピーしてください。
4. コピーしたファイルをExcel で開きます。
5. データを編集した場合は、必ずCSV形式で保存し、SDカードへもコピーしてください。
6. データの登録については、”7. 10. IDデータの一括登録”を参照してください。

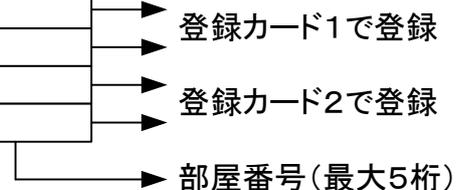
Excel上の表示 個別登録抹消モードの場合

A	B	C	D
S	0	0	AA09640106010101
U	1	0	2A45694D00000000
U	2	0	180BB44A00011A0A



Excel上の表示 登録カードモードの場合

A	B	C	D	E
S	0	0	AA09640106010101	
P	1	1	330E671210011900	201
P	2	2	790D8A0109011900	1110
U	1	1	2A45694D00000000	
U	2	1	180BB44A00011A0A	
U	3	2	8A71694D00000000	
U	4	2	1AEA6C4D00000000	



■登録カードモードの場合、ゲート番号、部屋番号、管理番号(個人番号)が宅配ボックス、エレベータ、インターホンへ出力することができます。

■部屋番号は、登録カード毎に編集してください。

■この機能を利用する場合は、別途コミュニケーションユニット(CCU-1000)が必要です。

ご注意)

■基板の部分が熱くなっている場合がありますので、SDカードを出し入れする場合は、ご注意ください。

■SDカードは裏面を手前にして、挿入します。

7. 9. ID名称編集(name.csv)

■履歴データを確認する場合、各IDに対して個人名などを付加したい場合、この項目編集してください。

1. 本体よりSDカードを取り出します（軽く押すとロックがはずれます）
* SDカードが装着されている場所は、”3. 2. 内部図”を参照してください。
2. パソコンにSDカードをセットしてください。
3. SDカード内のフォルダ ”¥ctrl” 直下の name.csv のファイルをパソコンへコピーしてください。
4. コピーしたファイルをExcel で開きます。
5. 表示したい管理番号に対して、' B ' の列を編集してください。（半角16文字・全角8文字まで）
6. データをCSV形式で保存してください。
7. パソコンからSDカードの”¥ctrl”へコピーしてください。
8. 本体の電源を一旦切り、SDカードを挿入してください。
9. 電源をONにします。

文字数は、必ず半角16文字、全角8文字以内で編集してください。文字数をオーバーすると、履歴データが正常作成されなくなるばかりか、本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

Excel上での表示

A	B
1	Name1
2	Name2
3	Name3

→ ID名称

→ 管理番号(シリアル番号)

ご注意)

- 基板の部分が熱くなっている場合がありますので、SDカードを出し入れする場合は、ご注意ください。
- SDカードは裏面を手前にして、挿入します。

7. 10. ゲート番号編集(gate.csv)

■通常このファイルを編集する必要ありませんが、コミュニケーションユニット(CCU-1000)を介して宅配ボックス、エレベータ、インターホンへ出力する時に、各HC-7132HS毎に必ず異なるゲート番号(1~8)を設定してください。

1. 本体よりSDカードを取り出します(軽く押すとロックがはずれます)
* SDカードが装着されている場所は、“3. 2. 内部図”を参照してください。
2. パソコンにSDカードをセットしてください。
3. SDカード内のフォルダ “¥ctrl” 直下の gate.csv のファイルをパソコンへコピーしてください。
4. コピーしたファイルをExcel で開きます。
5. A1を編集してください(1~8の範囲)。
6. データをCSV形式で保存してください。
7. パソコンからSDカードの“¥ctrl”へコピーしてください。
8. 本体の電源を一旦切り、SDカードを挿入してください。
9. 電源をONにします。

Excel上での表示

A	B
1	

▶ ゲート番号(1~8)

- 最大8台のHC-7132HSから、宅配ボックス、エレベータ、インターホン等へ(最大4台のCCU-1000)同時に出力が可能です。
- 各HC-7132HSとCCU-1000はRS485で、CCU-1000からはRS422又はRS232で、各装置と連動します。

ご注意)

- 基板の部分が熱くなっている場合がありますので、SDカードを出し入れする場合は、ご注意ください。
- SDカードは裏面を手前にして、挿入します。

7. 11. CCU-1000接続台数編集(ccu.csv)

■コミュニケーションユニット(CCUC-1000)を介して 宅配ボックス、エレベータ、インターホンへ出力する時に、各HC-7132HS毎に同じ台数(1~4)を設定してください。接続しない場合は0(初期値)としてください。

1. 本体よりSDカードを取り出します(軽く押すとロックがはずれます)
* SDカードが装着されている場所は、“3. 2. 内部図”を参照してください。
2. パソコンにSDカードをセットしてください。
3. SDカード内のフォルダ “¥ctrl” 直下の ccu.csv のファイルをパソコンへコピーしてください。
4. コピーしたファイルをExcel で開きます。
5. A1を編集してください(1~4の範囲)。
6. データをCSV形式で保存してください。
7. パソコンからSDカードの“¥ctrl”へコピーしてください。
8. 本体の電源を一旦切り、SDカードを挿入してください。
9. 電源をONにします。

Excel上での表示

A	B
1	

▶ CCU-1000接続台数(1~4)

- 最大8台のHC-7132HSから、宅配ボックス、エレベータ、インターホン等へ(最大4台のCCU-1000)同時に出力が可能です。
- 各HC-7132HSとCCU-1000はRS485で、CCU-1000からはRS422又はRS232で、各装置と連動します。

ご注意)

- 基板の部分が熱くなっている場合がありますので、SDカードを出し入れする場合は、ご注意ください。
- SDカードは裏面を手前にして、挿入します。

■本機を増設する場合や、故障時に取換える場合などに、発行しているカードを回収することなくIDデータの登録・復元が行えます。

7. 10. 1. 増設の場合

1. 増設したいIDが登録されている、HC-7132HSよりSDカードを取り出します（軽く押すとロックがはずれます）。A機、SD-Aとします。
* SDカードが装着されている場所は、“3. 2. 内部図”を参照してください。
2. 新規に増設したHC-7132HSのSDカードを抜きます。B機、SD-Bとします。
3. SD-AをB機に挿入します。
4. B機の電源を、ONにします。
5. 日付が表示された段階で、“次へ”ボタンを、“COPY” と表示されるまで押します。
6. システムカードを操作します。
7. まず最初に、メモリの初期化が始まります。（表示部に16進数の文字が表示されます）
8. 次にSDカードから、IDデータの読取が始まります。（この時、管理番号が表示されます）
9. 全てコピーすると、再び日付が表示されます。
10. B機から、SD-Aを取出し、SD-Bを挿入します。
11. A機へSD-Aを戻します。
12. これで、A機のシステムカード、登録カード（登録カードモードの場合）、ユーザーカードIDが全て、B機へコピーされました。しかし、SD-Bには、まだ正規のデータがありません。
13. B機で、システムカードを操作します。（ID登録モード）
14. もう一度システムカードを操作。（登録モード終了）
15. これでSD-Bにも、本体内部のメモリからSDカードへ、IDデータがバックアップされます。

7. 10. 2. 取替えの場合

1. HC-7132HSよりSDカードを取り出します（軽く押すとロックがはずれます）。
* SDカードが装着されている場所は、“3. 2. 内部図”を参照してください。
2. 機器を取替えます。
3. SDカードを挿入します。
4. 電源を、ONにします。
5. 日付が表示された段階で、“次へ”ボタンを、“COPY” と表示されるまで押します。
6. システムカードを操作します。
7. まず最初に、メモリの初期化が始まります。（表示部に16進数の文字が表示されます）
8. 次にSDカードから、IDデータの読取が始まります。（この時、管理番号が表示されます）
9. 全てコピーすると、再び日付が表示されます。

ご注意)

■基板の部分が熱くなっている場合があるので、SDカードを出し入れする場合は、ご注意ください。

■SDカードは裏面を手前にして、挿入します。

8. 仕様

リーダーインタフェース	制御方式	RS485によるポーリング制御方式(NHW通信プロトコル)	
	接続可能リーダー	マルチリーダー(RD-3000) ISO14443A、ISO15693、FeliCa	
	IDデータ桁数	各リーダーとも8バイトのデータを登録	
	ID登録数	システムID	1ID
操作用ID		999ID 001-999 個別カードモード 登録カードモード	
登録用ID		100ID 001-100 登録カードモードのみ	
Wiegand インタフェース	3バイトデータ	Wiegand24, 26	
	4バイトデータ	Wiegand32, 34, 37	
	5バイトデータ	Wiegand40, 42, 44	
	6バイトデータ	Wiegand48	
	7バイトデータ	Wiegand56	
	8バイトデータ	Wiegand64, 68	
EEPROM インタフェース	記憶容量	256Kbit(32Kバイト)	
	記憶データ	照合用IDデータ、電気錠設定データ、履歴データ一時記憶	
SDカード インタフェース	メディアアクセス方式	SPI	
	対応メモリカード	SD規格カード 2GBまで(SDHCなど、2GBを超えるカードは使用不可) 100MBの空き容量が必要	
	ファイルフォーマット	FAT16 全てCSV形式で保存 パソコン上では、Excelなどの汎用ソフトで閲覧・編集	
	記憶データ	履歴100万件、IDデータバックアップ、ID名称、他	
カレンダー・時計	時計精度	月差 ±13秒	
SSRAM	記憶データ	履歴データの一時的記憶、他	
カレンダー・時計 停電バックアップ		電気二重層コンデンサによるバックアップ(2日)	

電気錠インタフェース	制御方式	2線式インタフェース 瞬時通電施錠、モーター錠：1A以下 通電時解錠、通電時施錠：0.5A以下		
	対応電気錠	施錠、解錠、開扉信号を有する電気錠で、その論理が以下のものと電磁錠をセットアップ時自動認識 施錠信号：施錠時ON 解錠信号：解錠時ON 開扉信号：閉扉時ON		
電気錠インタフェース	表示	異常(赤)	開扉アラーム、こじ開けアラーム時点灯 2線アダプタとの通信エラー時点灯	
		開扉(橙)	開扉時点灯	
		解錠(緑)	電気錠解錠時点灯 自動ドアとして認識の場合は、リレー出力時間の間点灯	
	スイッチ	1回解錠	設定時間 又は 開扉→閉扉で施錠	
		連続／施錠	ワンショット保持 又は ワンショット解錠、施錠の反転動作	
		施錠	施錠	
	入力	1回解錠	スイッチに同じ	
		連続／施錠	SW5-ON時は、反転動作	
		施錠／警戒	SW5-ON時は、警戒入力	
		火報連動	メーク時連続解錠	
	出力	解錠	解錠時ON	無電圧C接点 接点容量 2A DC30V
		開扉	開扉時ON	
		異常	開扉アラーム、こじ開けアラーム発生時ON	
		自動ドア	1回解錠時間ON 又は 照合出力	
JEM-A	JEM-A規格に準拠 1回解錠動作			
7セグメントLED表示	桁数	4桁		
	通常時	日付:月、日 時刻:時、分 認証されたカードの登録番号を表示 U001-U999 決定ボタンにより切換え		
	登録モード時	登録番号の表示 U001-U999 操作用ID登録番号 (個別IDモード 登録IDモードは、抹消のみ) P001-P100 登録用ID番号 (登録IDモード時のみ) 登録番号は点灯、未登録番号は点滅		
日付・時刻設定時	日付:月、日 時刻:時、分 認証されたカードの登録番号を表示 U001-U999 決定ボタンにより、切換え			

パネルスイッチ	取消・削除	通常時	7セグメントLEDの表示・非表示の切り替え
		登録モード	登録IDデータの削除
		設定モード	設定値を初期値へ戻す
	決定・登録	通常時	カレンダー・現在時刻の切替 長押し(3秒)で、カレンダー・時刻設定モード
		登録・抹消モード	個別IDモード F-00 操作用IDの個別登録・抹消
			登録IDモード F-01 登録IDの個別登録・抹消 F-02 操作用IDの個別抹消
			設定モード ソフトスイッチ・データ設定 F-03
		時刻設定	設定値の入力
	次へ	通常時	電気錠状態表示、Wiegand、通信状態表示 履歴手動保存、SDカードからのIDデータ一括登録
		登録モード	次の登録番号へ移動
		設定モード	次の設定項目へ移動
		時刻設定	年一月一日一時一分一秒 の順に移動
	前へ	通常時	前の表示にひとつ戻る
		登録モード	前の登録番号へ移動
		設定モード	前の設定項目へ移動
		時刻設定	ひとつ前の設定へ戻る
	▲	通常時	
		登録モード	登録番号+10 約2秒以上押し続けると早送り
		設定モード	設定値+1
		時刻設定	
	▼	通常時	
		登録モード	登録番号-10 約2秒以上押し続けると早戻し
		設定モード	設定値-1
		時刻設定	
周囲温度		0~40℃	
周囲湿度		80%以下	
供給電源		AC100V	
消費電力		最大50W	
重量		約650g	
ケース材質		ABS樹脂 マンセル10Y9/0.5	
外形寸法		W145×H205×D50	

